



Tornname

2月

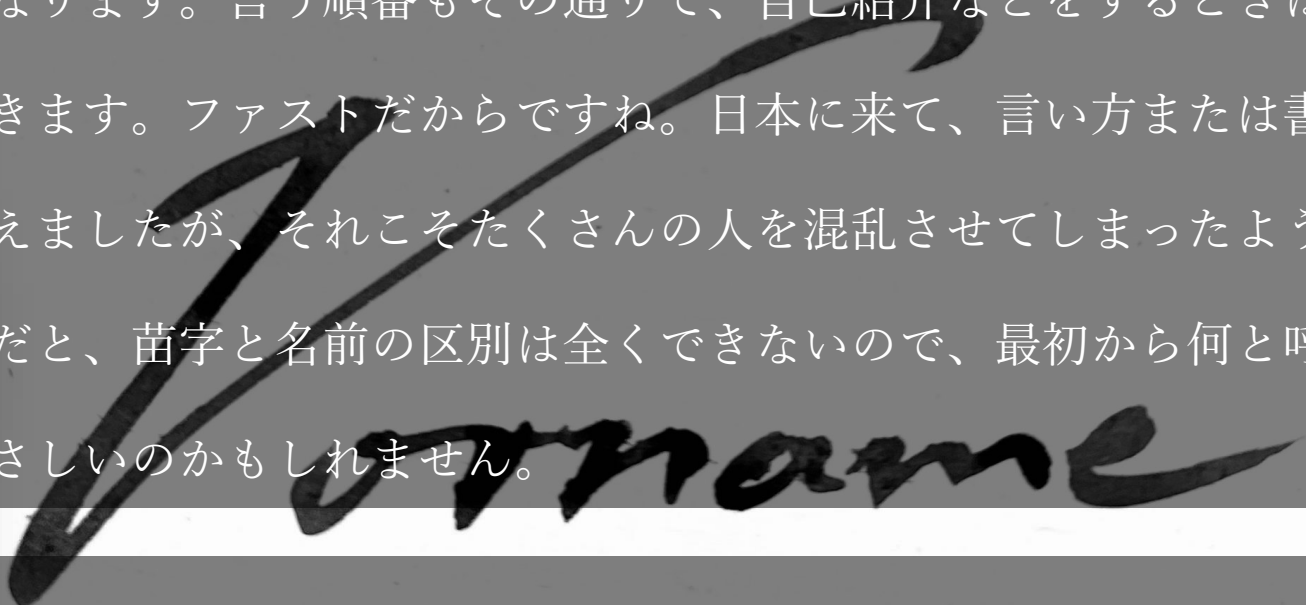
「Wie lautet dein Name」 アントニア・シュルト

1. 有名なジブリ映画の名前をつまらない記事のタイトルにしてしまっ
て、すみません。テーマを決めた時自然に出てきたわけです。

日常の中たくさん記事にできそうな気付きがありますが、実際に書
こうと思えば、なんだかアイデアがあまり出てこない場合が多い
です。30歳を超えたら、やはりメモをきちんと書かないといけない
という人生のエピソードが始まりますね。同僚に聞いてみたら、
「以前、話した『ドイツの名前』についてはどうですか」とアイ
ディアをくれました。

去年は「ドイツの苗字」について記事を書いたことがありますが、
今回は下の名前の話をしたいと思います。

2.日本語で「名前」と「苗字」がありますが、その区別を明確にしたいときはたまに「下の名前」とも言われていると思います。ドイツ語では逆に、「Vorname」（フォアナアメ）となり、英語で言ったら、「ファストネーム」になります。言う順番もその通りで、自己紹介などをするときには必ず、そのファストネームが最初にきます。ファストだからですね。日本に来て、言い方または書き方を合わせようとして、順番を変えましたが、それこそたくさんの人を混乱させてしまったようです。外国の名前に慣れていない人だと、苗字と名前の区別は全くできないので、最初から何と呼んでほしいか言ってあげると一番やさしいのかもしれない。



3.日本でもドイツでも、「人の名前」にはさまざまな思いが込められていると同時に、歴史や文化や家格などが反映されています。ヨーロッパの中心に設置しているドイツは隣接する国がたくさんあって、歴史の流れで昔からドイツ「ゲルマン」の由来だけの名前ではなく、ラテン語、フランス語、聖書からのヘブライ語、イタリア語が多くつけられてきました。

4.ドイツでは、子どもが生まれたら生後4週間以内に戸籍役場（Standesamt）へ届け出でをしないと
いけません。子どもの命名について法的な決まりはありませんが、慣習などをもとにガイドライン
が定められています。そのガイドラインにより、例えば、名前として判別できない名前は不可能で、
子どもの人格を否定したり、子どもが嘲笑の対象となるような名前も不可能です。例えば、「Popo
ポポ」（ドイツ語の俗語で「おしり」）という名前が却下されました。

私の名前は「Antonia」です。ここでよく「トニー」と呼ばれているけど、母や父や兄弟にずっと
フルネームのアントニアと呼ばれてきました。同僚にそれについて聞かれたら、少し考えて、「多
分、せっかく素敵な名前を付けたので、ちゃんと呼びましょう。というか、名前への、または本人
への尊重という思いが込められているのではないか。」と返事しました。愛称には言葉通り、

「愛」が協調されているかもしれませんが、つけた名前を縮めず言うと、そこもかなりのパワーが
入っているような気がします。